



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

第17号【令和8年3月24日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

1年間、ありがとうございました

年齢を重ねるごとに、時の流れが早く感じられるようになります。4月に新入生を迎えたかと思えば、先週には卒業生を送り出しました。年をとるほど時間が早く経つように感じるこの現象は、「ジャンネーの法則」と呼ばれているそうです。これは、「主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される」ということを、心理学的に説明した法則です。

例えば、50歳の人にとって1年は人生の50分の1にあたりますが、5歳の子どものっては5分の1に相当します。この理屈でいえば、50歳の人10年間は、5歳の子どもの1年間にあたり、5歳の子どもの1日は、50歳の人10日に相当することになります。

あくまで一般論ではありますが、中学生にとっては、毎日が新鮮な出来事の連続です。特に1年生は、やることなすことが初めての経験で、常にワクワク・ドキドキの毎日を過ごしていることでしょう。中学生の1年間は、人生の13分の1から15分の1にあたり、とても濃密な時間となります。その貴重な時間を、私たち教員が共に過ごすことができることに幸せを感じるとともに、学校教育の中で、生徒一人ひとりが日々の充実感や新鮮さを感じられるような関わりを大切にしていきたいと考えています。

先日の卒業式では、厳かな中にも心温まる雰囲気の中で、117名の卒業生を送り出すことができました。また、修了式では、学年の代表生徒に修了証書を手渡しました。そこには、生徒たち一人ひとりの努力と成長の軌跡が詰まっています。この1年をしっかりと振り返り、自分自身と向き合うことが、次の一歩につながることを願いながら、修了式で話をさせていただきました。

保護者の皆さまには、この1年間、本校の教育活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。中学生にとっての1年1日は、私たち大人が感じる以上に密度の濃い、大切な時間です。そのかけがえのない日々を安心して過ごせるのは、保護者の皆さまの日頃からの見守りと支えがあってこそだと感じています。学校では気づききれない生徒の姿を、ご家庭で温かく受け止めていただいていることに、深く感謝しております。これからも、学校と家庭が同じ方向を向き、子どもたちの可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。心より感謝申し上げますとともに、次年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。